

【修学旅行 in 台湾】

11月18日（月）から4日間、1年生290名が台湾へ修学旅行に行きました。本校としては、5年ぶりの台湾修学旅行です。

1日目は台北に着いた後、龍山寺や忠烈祠を観光し、車窓から中正紀念堂を見学しました。忠烈祠ではタイミング良く、衛兵交代式を見学できたクラスもありました。



2日目は新莊高級中学校で、現地の高校生と交流活動をしました。皆さんからダンスなどの熱烈な歓迎を受け、本校からは、日本のことや大津高校についてプレゼンを行い、持参したお菓子やおもちゃなどをプレゼントしました。午後は現地の大学生リーダーと一緒に班別自主行動でした。班ごとに永康街、迪化街、動物園や台北101などで買い物や観光、食事を楽しんでいました。

3日目は九份や十份の街並みを散策しました。故宮博物院では、ガイドの指示とヘッドホンでの説明を聞きながら、台湾の歴史を学びました。十份では、「天燈上げ」をしました。生徒それぞれが願いを書いてランタンを空に飛ばしました。午後はジブリ映画の『千と千尋の神隠し』のモデルになったといわれる、九份の街並みも散策し、美術コースは絵画実習も行いました。



4日目は朝早くからホテルを出発して、出国手続きを済ませ、日本に帰国しました。朝早くということと旅の疲れが相まって、移動のバスの中では、みんなぐっすり眠っていました。様々なことを体験でき、一回り成長できた台湾修学旅行でした。

【理数科研究発表会に参加しました】

11月11日（月）に、熊本県公立高等学校理数科研究発表会が森都心プラザホールで行われました。この発表会は県内にある理数科・理数コースを持つ高校の各代表が、課題研究などの日頃の研究の成果を発表するものです。本校からも校内で選考会を経て選ばれた2年理数科の化学班が「フッ素樹脂の再資源化」について発表しました。

発表では、実際に実験材料で用いたフッ素樹脂を見せるなど、わかりやすく発表しました。また、質問にもしっかり答えていて、堂々とした発表態度でした。1年SSクラスも発表会に参加しその様子を見学しました。3学期には現在取り組んでいる理数探究でのそれぞれの研究内容の発表会が行われます。1年生にとっては、発表の仕方やピリピリした雰囲気などを感じることができる良い機会になりました。



↑直前練習にも力が入ります

